

Tekla Structures News Season's Greetings



内容

- [CEOからのご挨拶](#)
- [ArcelorMittal \(アルセロール・ミタル社\) とのパートナーシップ締結](#)
- [Ramboll、Alstomと共に成長する基本設計機能](#)
- [開発中の新しいホームページとエクストラネットサービス](#)
- [Tekla Structures for Construction Managementの発表](#)
- [Tekla Structures ニュースへのご意見をお待ちしています](#)

CEOからのご挨拶



Tekla は、本年度も順調な業績を継続できる見込みでございます。特にTeklaStructuresをご提供している建築・建設向け事業は弊社の主力ビジネス分野として引き続き成長を持続しております。Tekla Structuresの御利用を通じて、弊社は引き続きお客様の業務効率化のためのご支援をさせていただきます。

Teklaの建築・建設事業部門はお客様の業務プロセスを合理化することを目標とし、日々Tekla Structuresの開発に取り組んでいます。サポート宛のご意見、またはソフトウェアのカスタマーフィードバックシステムなど様々な経路から、お客様の貴重なフィードバックをいただきましたことを心より感謝しております。今後もお客様からのご意見を弊社製品ラインナップの改良に活かすことで、お客様の業務効率向上につなげていきたいと考えております。本年は最新のメインバージョンであるTekla Structures 13を発表いたしました。業界で広く使われている構造計算ソフトとのインターフェイス開発など、多様な企業との協業を実現し、すでに世界中のプロジェクトで活用されています。

Tekla は、建設業界に効率的なソリューションを提供するソフトウェア企業のリーダーとなることを目指します。建設プロセスの合理化を図るだけでなく、お客様がTeklaStructuresのメリットを最大限に活用していただくことが弊社にとって重要な目標であり、これはお客様のご協力があってこそ実現できるものと考えております。弊社はこのことを戦略的投資判断を行う際の指標としております。今年、Teklaの全世界での純売上高は5000万ユーロ近くに上りました。従業員数は400人近くとなり、さらに専門的知識を持つ人材の募集を続けています。ユーザーの皆様のお役に立つことを目標にこれまで弊社が行ってきた投資は正しいものであったと確信しています。

2007年にお客様からいただいたご協力に心より感謝するとともに、すべてのお客様のご成功を心よりお祈りいたします。

Ari Kohonen
社長兼CEO、Tekla Corporation

> ArcelorMittal (アルセロール・ミタル社) とのパートナーシップ締結

Teklaは、世界最大の鉄鋼メーカーであるArcelorMittalとの間で国際的規模のパートナーシップ契約を締結しました。この契約は鉄骨部材情報を活用するTeklaのお客様にとって大きなメリットをもたらします。

2007年10月に世界最大の鉄鋼メーカーであるArcelorMittal社とBCSマーケティングチームおよびLCE Support研究所との間でパートナーシップ提携が締結されました。ArcelorMittal Steel Solutions & Servicesと商業部門に加え、Teklaも世界中のありとあらゆるプロジェクトに適用することが可能な、鉄骨建築の市場で比類なきツールを提供するという世界的な役割を担っています。

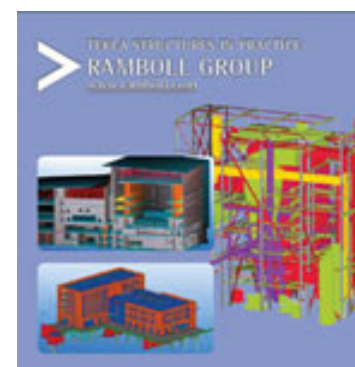


ArcelorMittalとTeklaの両社間で行われた技術とノウハウの交換により、ArcelorMittalは同社のお客様のニーズをより深く理解し、TeklaはBCS Marketing部門だけでなくLong Carbon Steel EuropeのR&D部門のノウハウも統合することが可能になりました。この相乗効果により、例えば建築家にとって非常に斬新な夢：環境を考慮した無限にリサイクルが可能な最新のスチール素材による建築、を可能にしたり、より簡単により正確に予算内で設計を実行することを可能にします。加えて、ArcelorMittal製品の利用を促進し、新たな地域の市場を開拓することもこのパートナーシップの目的でした。TeklaおよびArcelorMittalは、専門学校や職業訓練校などを通して鉄骨業界の注目度を高めることで、鉄骨建設専門家の地位を向上させることも目指しています。

[Constructalia](#) のウェブサイト およびArcelorMittalの商業部門のウェブサイトの統合により、両社は新しい時代を実現しました。このことはArcelorMittalの建設の市場での占有率の上昇に対して長期的に大きな影響を与えるでしょう。結果として世界規模での鉄骨ソリューションの提供にとどまらず、Tekla Structuresを使うことがArcelorMittal製品の使用につながるという付加価値をもたらすでしょう

> Ramboll、Alstomと共に成長する基本設計機能

Ramboll グループは、Tekla Structuresを数百に及ぶプロジェクトで広範囲に活用している、スカンジナビアの大手中エンジニアリング会社です。またAlstomグループもTekla Structuresを大規模に使用するユーザーであり、その子会社も含め古くからのTekla Structuresユーザーです。



近年、スカンジナビア地域内におけるRamboll グループのTekla Structuresユーザーの数は200人近くに上ります。同社の3次元BIM (building information modeling)での成功の鍵は、どれほど複雑なデザインであるかに関係なく、様々なプロジェクトへのTekla Structuresの多彩な使用法と、同社の特定のニーズに対応した使い方にあります。> [事例のpdfを見る](#)



データの互換性に関する限り、Tekla Structuresは建設業界で使用されている最も適応性の高いソリューションの1つだといえます。国際的規模で活躍する会社にとって、あらゆるソフトウェアからインポートが可能で、且つ自社のシステムとの相互データ交換が可能なのは必要不可欠な機能です。Alstomグループでもこの点が高く評価されました。

ドイツのAlstom Power Boiler GmbHのグループ企業で多種のエネルギーや技術を扱う発電所があります。これはTekla Structuresを使用する最高のシナリオといえるでしょう。

AlstomはWai GaoQiao 石炭発電所プロジェクトの途中でTekla Structuresを導入しました。そ

れまで同社は、他のプラント設計およびエンジニアリング向けソフトウェアを使用しており、Tekla Structuresに関する詳細情報はほとんど持っていませんでした。長年のTeklaユーザーである企業がそのプロジェクトに参加したとき、Tekla StructuresとAlstomが使用していたソフトウェアのデータ互換性の問題が持ち上がったのです。Tekla Structuresの柔軟性がその効果を最大限に発揮することでスムーズな協業が実現され、同プロジェクトは期限内に成功裏に完成されました。

同プロジェクトでは Intergraph社製のソフトウェアがシステム設計に使用され、基本設計の一部には別の2次元ソフトウェアも使用されていました。ワークフローの矛盾により計画段階で部材の不具合がいくつか発生していましたが、後にTekla Structuresで管理することに成功しました。この際、Microstationフォーマット(DGN)参照モデルのインポートだけでなく、高品質なオブジェクト指向SDNFファイルのインポート/エクスポートが可能であったことは、既存建造物の拡張を計画する中で非常に大きなメリットとなりました。

[トップページに戻る](#)

開発中の新しいホームページとエクストラネットサービス

2007年、Teklaはホームページとエクストラネットがお客様やパートナーからどのように利用されているかを調査しました。この調査結果をもとに、弊社のみならずお客様にとっても最適なサービスをどのように提供していくかということを検討致しています。

Teklaは、現行のウェブサービスのパフォーマンスがいずれ限界に達することを想定し、改良を加えた新しいサービスの提供を計画しています。Teklaの新しいホームページおよびエクストラネットは2008年第2四半期に公開する予定です。



新しいホームページおよびエクストラネットを開発する目的の1つとして、お客様が最新の知識を随時入手できるような、高機能な知識データベースを構築することがあります。将来的なニーズを盛り込んで既存のバックオフィスシステム環境を統合することでこれを実現する予定です。そして討論フォーラム、ブログ、ウィキ、ワークスペースなどの対話型の機能性をもったWeb 2.0タイプのコミュニティを提供するためのアーキテクチャーや機能を慎重に選択しています。

ウェブコミュニティのサポートには、Microsoft MOSS 2007プラットフォームを選択しました。レスポンスの速さは特に重要視しており、必要に応じて複数のミラーサイトも用意する予定です。直観的に理解できることや使い易さも考慮しており、視覚的に楽しめる点も重要なポイントです。容易なナビゲーションを実現する検索機能の大幅な改良も行われます。

[トップページに戻る](#)

> Tekla Structures for Construction Managementの発表



この秋Teklaは、建設の前段階から計画、現場管理などのコンストラクションマネジメントに対するTekla Structuresの新しいソフトウェアソリューションを発表しました。詳細については、対話型のウェブプレゼンテーション（英語）をご覧ください。> [プレゼンテーションを見る](#)

[トップページに戻る](#)

> Tekla Structures ニュースへのご意見をお待ちしています。

建設業界の動向やプロジェクトに関する情報のみならず、Tekla Structuresの製品情報や使い方などのご提供を目指し、今年から発行を開始したTekla Structuresニュースですが、さらなる改良を目指してお客様からのご意見をお待ちしております。来年発行予定のニュースに関するご希望・ご意見などございましたら、お気軽に弊社までお寄せください。> [意見・感想を送る](#)



[トップページに戻る](#)

www.tekla.com から、最寄のTekla連絡先をご覧ください。

Tekla is either a registered trademark or a trademark of Tekla Corporation in the United States and other countries.

Copyright Tekla Corporation 2007